

令和元年度

敬老事業に関するアンケート（主催団体）

報 告 書

富士市 福祉こども部 福祉総務課

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	2
2	調査対象	2
3	調査期間	2
4	調査方法	2
5	回収結果	2
6	調査結果の表示方法	2
II	調査結果	3
1	今後の富士市の敬老事業のあり方について	4
問1	今後の敬老事業のあり方に関する考え	4
問2	敬老会の対象年齢に関する考え	5
問3	敬老会の開催方法に関する考え	6
問4	敬老祝金支給事業に関する考え	7
問5	米寿記念品支給事業に関する考え	8
問6	100歳長寿祝に関する考え	9
問7	最高齢長寿祝に関する考え	10
問8	魅力的な敬老会について	11
問9	敬老事業を見直した場合に充実させてほしいサービス・事業	12

付録 調査票

I 調査の概要

I 調査の概要

1 調査の目的

この調査は、敬老事業の見直しにあたり、敬老会の主催団体に意見を伺い、今後の敬老事業のあり方についての検討の基礎資料をすることを目的として実施した。

2 調査対象

敬老会の主催団体である、町内会（388町内会）及び社会福祉法人等（25施設）

3 調査期間

令和2年1月14日から令和2年1月31日

4 調査方法

郵送による配布及び回収

5 回収結果

配布数	有効回収数	有効回収率
413 票	365 票	88.4%

6 調査結果の表示方法

○調査結果の比率は、その設問の回答者を基数として、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。四捨五入の関係で、合計が100%にならない場合がある。

○選択肢の語句が長い場合、本文中や表・グラフでは省略した表現を用いている。

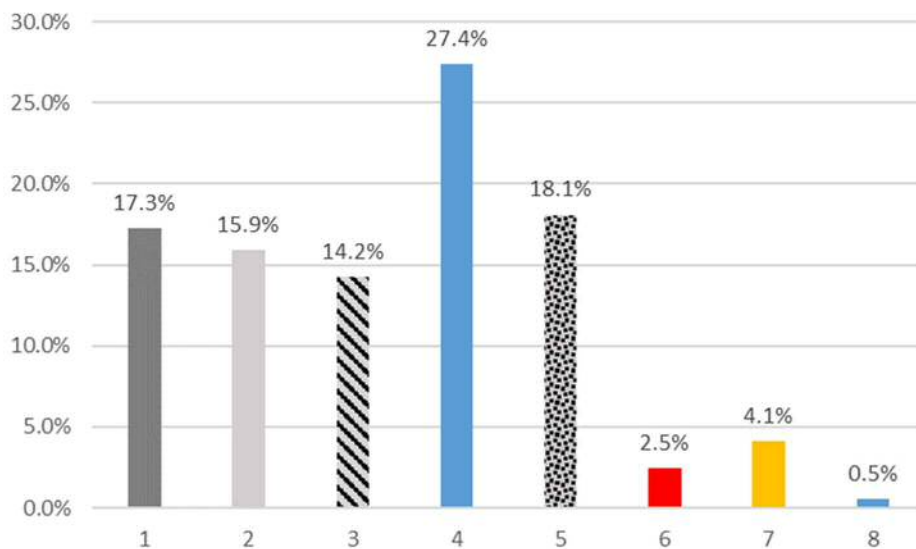
II 調查結果

1 今後の敬老事業のあり方について

今後の敬老事業のあり方に関する考え

問1 今後の敬老会のあり方について、あなたのお考えをお答えください。(〇は1つ)

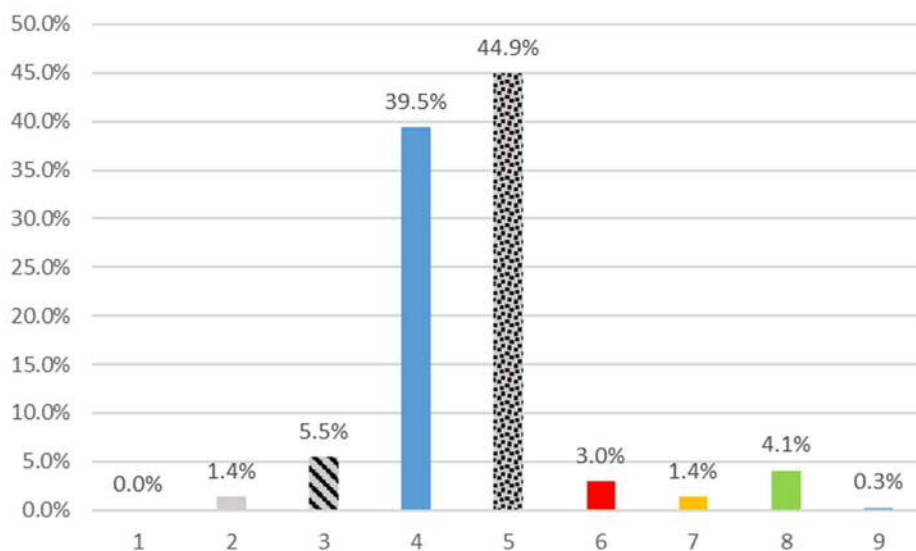
- 1 現状のままでよい(全体の経費は増える)
- 2 対象年齢は今のまま1人当たりの経費を引き下げ、現在の全体経費内で運営する
- 3 1人当たりの経費は今のまま対象年齢を引き上げ、現在の全体経費内で運営する
- 4 対象年齢や運営方法を見直し、全体経費を削減する
- 5 廃止してもよい
- 6 わからない
- 7 その他
- 8 無回答



今後の敬老会のあり方に関する考えについて、「対象年齢や運営方法を見直し、全体経費を削減する」が27.4%で最も高く、次いで「廃止してもよい」18.1%、「現状のままでよい」17.3%、「対象年齢は今のまま1人当たりの経費を引き下げ、現在の全体経費内で運営する」15.9%、「1人当たりの経費は今のまま対象年齢を引き上げ、現在の全体経費内で運営する」14.2%の順となっている。

問2 敬老会の対象年齢の設定は、何歳くらいが適当だと思いますか。(〇は1つ)

1	65 歳以上	4	77 歳以上 (現状)	7	90 歳以上
2	70 歳以上	5	80 歳以上	8	その他
3	75 歳以上	6	85 歳以上	9	無回答

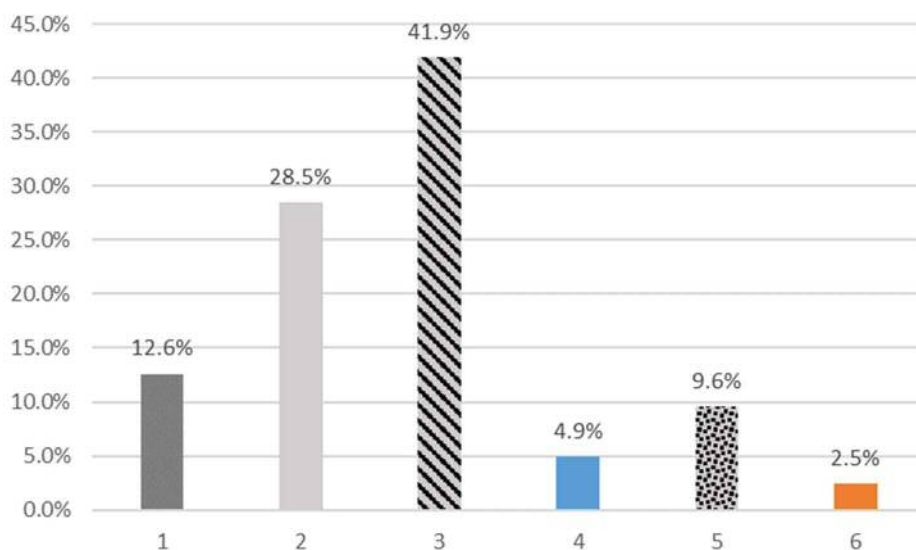


敬老会の対象年齢に関する考えについて、「80 歳以上」が 44.9%で最も高く、次いで「77 歳以上 (現状)」39.5%となっている。

「80 歳以上」「77 歳以上 (現状)」2 項目の回答が、全体の約 85%を占めている。

問3 敬老会の開催方式は、どのような方式がよいと思いますか。(〇は1つ)

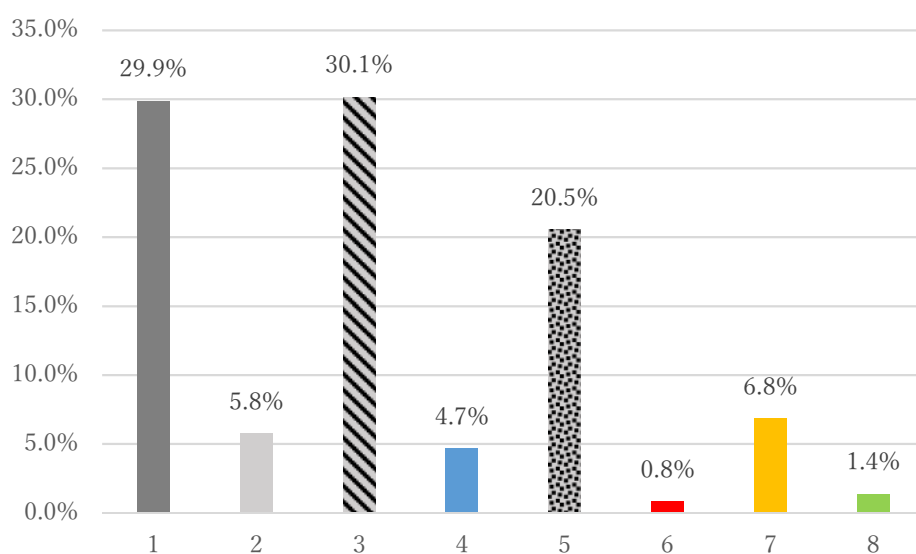
- 1 対象年齢の方のみで、市内一括で行う（成人式のような方式）
- 2 地区単位で行う（現状の「会場型」方式）
- 3 町内会単位で行う（現状の「分散型」方式）
- 4 わからない
- 5 その他
- 6 無回答



敬老会の開催方法に関する考えについて、「町内会単位で行う（現状の「分散型」方式）」が 41.9%で最も高く、次いで「地区単位で行う（現状の「会場型」方式）」28.5%、「対象年齢の方のみで、市内一括で行う（成人式のような方式）」12.6%の順となっている。

問4 今後の敬老祝金支給事業について、どのように思いますか。(○は1つ)

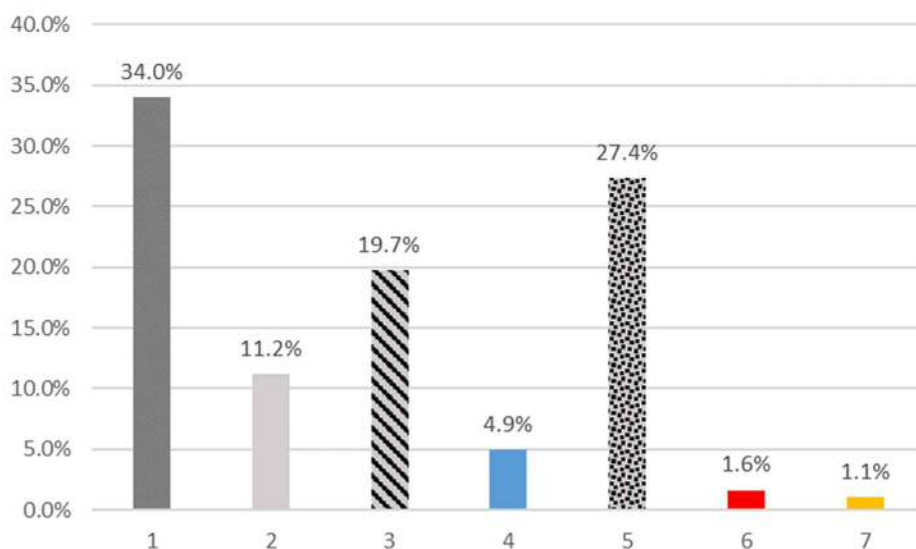
- 1 現状のままでよい
- 2 祝金の対象年齢は今のままで、祝金の金額を引き下げる
- 3 祝金の対象年齢を引き上げ、祝金の金額は今のままでよい
- 4 祝金の対象年齢を引き上げ、祝金の金額は引き下げる
- 5 廃止してもよい
- 6 わからない
- 7 その他
- 8 無回答



敬老祝金支給事業に関する考えについて、「祝金の対象年齢を引き上げ、祝金の金額は今のままでよい」が30.1%で最も高く、次いで「現状のままでよい」29.9%、「廃止してもよい」20.5%の順となっている。

問5 今後の米寿記念品支給事業について、どのように思いますか。(〇は1つ)

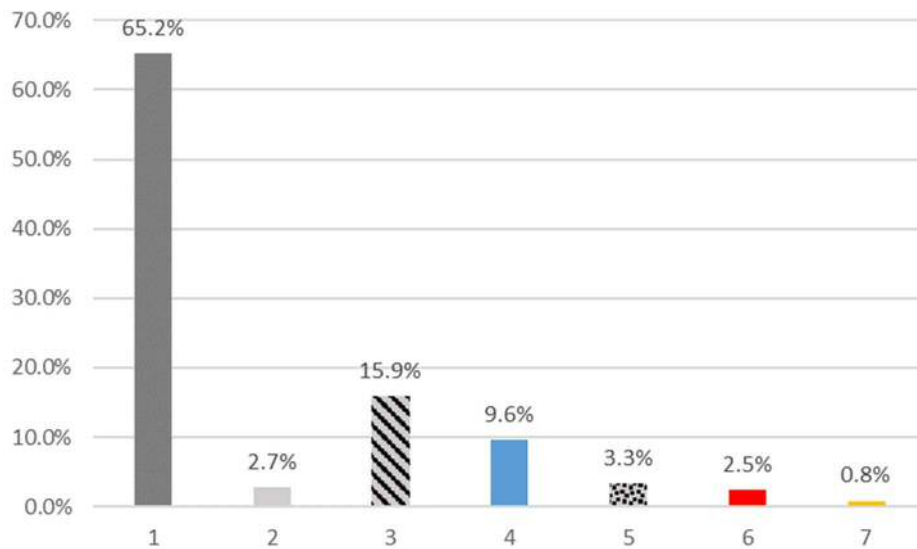
- 1 現状のままでよい
- 2 記念品の選択肢を増やす
- 3 記念品の選択肢を減らす、または1品に限定する
- 4 代替りのものがよい
- 5 廃止してもよい
- 6 わからない
- 7 無回答



米寿記念品支給事業に関する考えについて、「現状のままでよい」が34.0%で最も高く、次いで「廃止してもよい」27.4%、「記念品の選択肢を減らす、または1品に限定する」19.7%の順となっている。

問6 100歳長寿祝（10万円・花束・賀詞）についてどのように思いますか。（○は1つ）

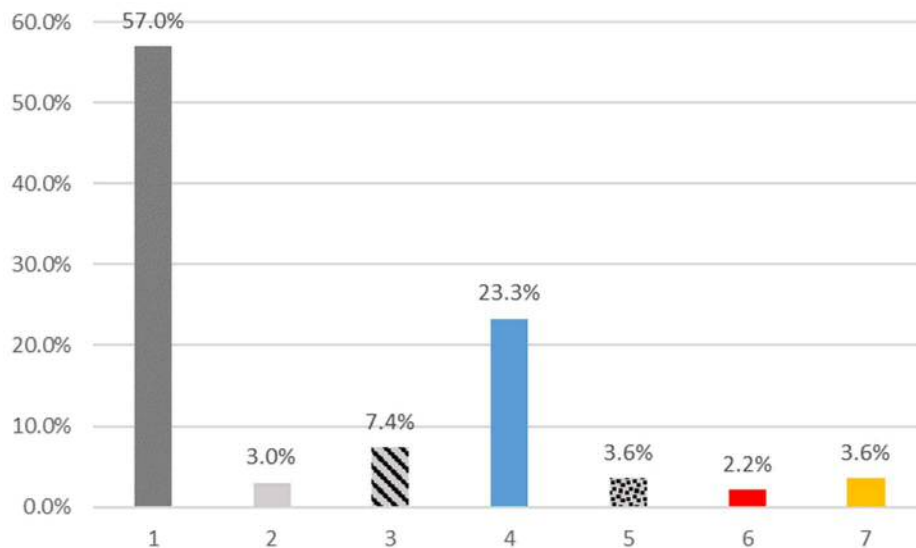
- | | | |
|------------|-----------|-------|
| 1 現状のままでよい | 4 廃止してもよい | 7 無回答 |
| 2 拡大する | 5 わからない | |
| 3 縮小する | 6 その他 | |



100歳長寿祝に関する考えについて、「現状のままでよい」が65.2%で最も高く、次いで「縮小する」15.9%、「廃止してもよい」9.6%の順となっている。

問7 最高齢者長寿祝（1万5,000円以内の記念品・花束）について、どのように思いますか。
（〇は1つ）

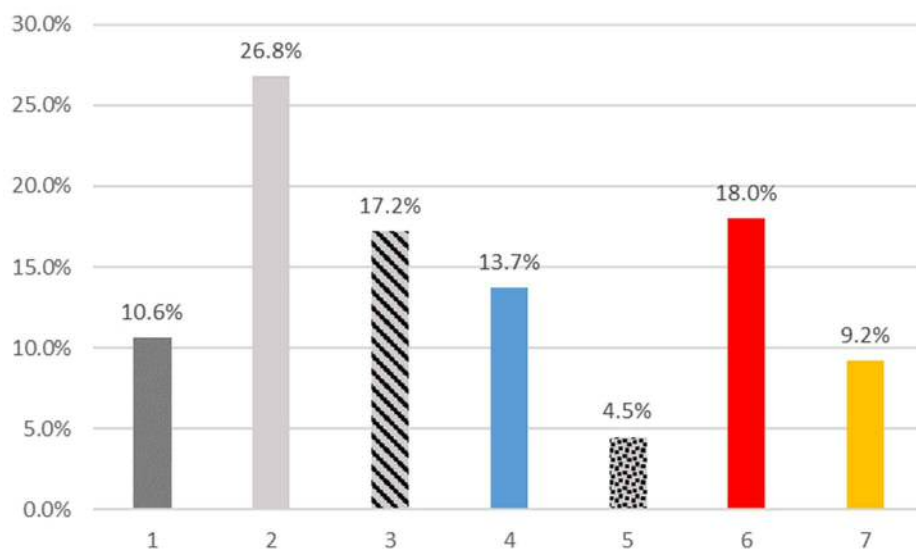
- | | | |
|------------|-----------|-------|
| 1 現状のままでよい | 4 廃止してもよい | 7 無回答 |
| 2 拡大する | 5 わからない | |
| 3 縮小する | 6 その他 | |



最高齢者長寿祝に関する考えについて、「現状のままでよい」57.0%が最も高く、次いで「廃止してもよい」23.3%、「縮小する」7.4%の順となっている。

問8 魅力的な敬老会とは、どのようなものだと思いますか。(〇はいくつでも)

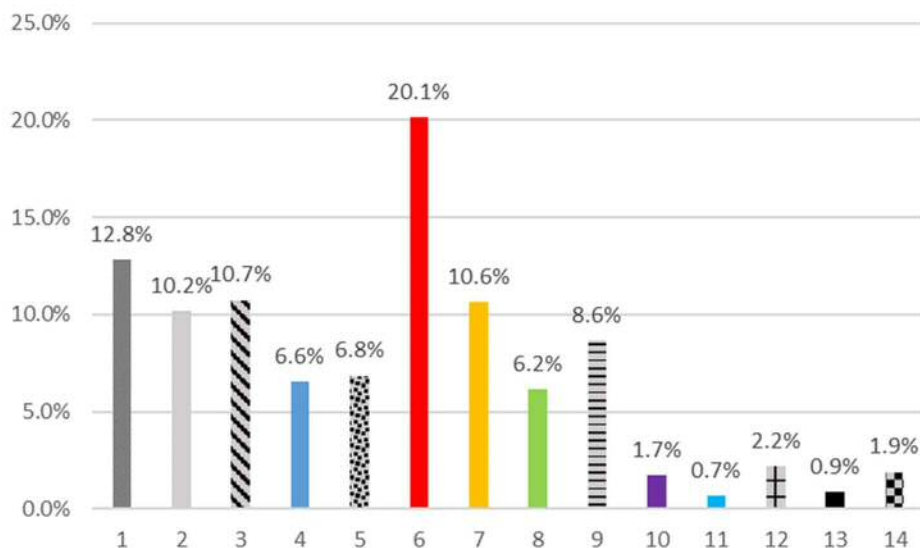
- 1 対象年齢の方のみで、市の主催で、1つの会場で開催（成人式のような方式）
- 2 敬老週間に合わせて、対象者が選択して参加できる催しもの・イベントの開催
- 3 敬老の日に、家族で楽しめる催しもの・イベントの開催
- 4 保育園・幼稚園・小中学校等との交流事業
- 5 3世代・4世代交流事業
- 6 高齢者と子どもと一緒に遊べる空間やイベントの開催
（子どもたちとおしゃべりカフェ、昔の遊びなど）
- 7 その他



魅力的な敬老会について、「敬老週間に合わせて、対象者が選択して参加できる催しもの・イベントの開催」26.8%が最も高く、次いで「高齢者と子どもと一緒に遊べる空間やイベントの開催（子どもたちとおしゃべりカフェ、昔の遊びなど）」18.0%、「敬老の日に、家族で楽しめる催しもの・イベントの開催」17.2%の順となっている。

問9 敬老事業の見直しにより余剰財源が生じた場合、それを他の事業に振り分けるとしたら、どのようなサービス・事業を充実させてほしいと思いますか。(〇はいくつでも)

- 1 在宅高齢者の居宅サービス
- 2 認知症の人と家族をささえる事業
- 3 高齢者に対する安否確認など見守りを行う事業
- 4 身近なところで福祉の相談が気軽に行える場所の整備
- 5 健康増進・介護予防のための事業（健康づくり教室・介護予防教室の開催など）
- 6 公共交通（バス・電車・高齢者福祉タクシー）など、移動手段の確保
- 7 運転免許返納支援・返納者のサポート事業
- 8 障害者のための福祉サービス事業
- 9 子育て支援のための事業
- 10 移住者支援のための事業
- 11 富士市のPRのための広報広聴事業
- 12 企業誘致や次世代技術開発事業
- 13 中小企業支援のための事業
- 14 その他



敬老事業を見直した場合に充実させてほしいサービス・事業について、「公共交通（バス・電車・高齢者福祉タクシー）など、移動手段の確保」が20.1%で最も高く、次いで「在宅高齢者の居宅サービス」12.8%、「高齢者に対する安否確認など見守りを行う事業」10.7%の順となっている。

付録 調査票

令和元年度 敬老事業に関するアンケート

町内会（区）名（ ） 回答者氏名（ ）

今後の富士市の敬老事業のあり方について

敬老事業対象者は、今後も増加していくことが見込まれ、現状の敬老事業を継続すると、敬老会主催者（富士市・富士市町内会連合会・富士市社会福祉協議会）の経費負担は、更に大きくなることから、経費増加の抑制を検討する必要があります。

このことを前提に以下の問いにお答えください。

■敬老会の開催運営について

富士市では、**77歳以上の方を対象**に、年1回町内会（区）の各地区の実情に合わせて、**以下の3つの開催方法**で敬老会を行っています。

- ・会場型（地区全体で、小学校や社会福祉センター等で開催）
- ・分散型（町内会ごと公会堂等で開催）
- ・一部分散型（数町内がまとまり会場型で、他の町内は町内会ごと公会堂等で開催）

■敬老会の開催費用について

開催費用は、敬老会主催者の各負担により運営し、令和元年度の敬老会対象者は30,907人、敬老会の全体経費は約8,500万円となります。

（1人当たりの経費は2,730円となります）

〔問1〕 今後の敬老会のあり方について、あなたのお考えをお答えください。（○は1つ）

- 1 現状のままでよい（全体の経費は増える）
- 2 対象年齢は今のまま1人当たりの経費を引き下げ、現在の全体経費内で運営する
- 3 1人当たりの経費は今のまま対象年齢を引き上げ、現在の全体経費内で運営する
- 4 対象年齢や運営方法を見直し、全体経費を削減する
- 5 廃止してもよい
- 6 わからない
- 7 その他（ ）

〔問2〕 敬老会の対象年齢の設定は、何歳くらいが適当だと思いますか。（○は1つ）

- | | | |
|---------|-------------|---------|
| 1 65歳以上 | 4 77歳以上（現状） | 7 90歳以上 |
| 2 70歳以上 | 5 80歳以上 | 8 その他 |
| 3 75歳以上 | 6 85歳以上 | （ ） |

〔問3〕 敬老会の開催方式は、どのような方式がよいと思いますか。 (○は1つ)

- 1 対象年齢の方のみで、市内一括で行う (成人式のような方式)
- 2 地区単位で行う (現状の「会場型」方式)
- 3 町内会単位で行う (現状の「分散型」方式)
- 4 わからない
- 5 その他 ()

■敬老祝金支給事業について

77歳、80歳、90歳、99歳の方を対象に、5,000円を贈呈しています。
(令和元年度の富士市の敬老祝金予算は、約3,200万円です)

■米寿記念品支給事業について

88歳の方を対象に、「肖像写真」「大座布団」「地場産品詰合せ」の中から1品を選択していただき、贈呈しています。
(令和元年度の富士市の米寿記念品予算は、約1,200万円です)

〔問4〕 今後の敬老祝金支給事業について、どのように思いますか。 (○は1つ)

- 1 現状のままでよい
- 2 祝金の対象年齢は今のままで、祝金の金額を引き下げる
- 3 祝金の対象年齢を引き上げ、祝金の金額は今のままでよい
- 4 祝金の対象年齢を引き上げ、祝金の金額は引き下げる
- 5 廃止してもよい
- 6 わからない
- 7 その他 ()

〔問5〕 今後の米寿記念品支給事業について、どのように思いますか。 (○は1つ)

- 1 現状のままでよい
- 2 記念品の選択肢を増やす
- 3 記念品の選択肢を減らす、または1品に限定する
- 4 代替りのものがよい ()
- 5 廃止してもよい
- 6 わからない

〔問6〕 100歳長寿祝(10万円・花束・賀詞)についてどのように思いますか。 (○は1つ)

- 1 現状のままでよい
- 2 拡大する
- 3 縮小する
- 4 廃止してもよい
- 5 わからない
- 6 その他 ()

